

令和7年4月1日  
学校法人獨協学園  
獨協医科大学

## ギャンブル行動症へつながるオンラインカジノ

獨協医科大学精神神経医学講座（主任教授 古郡規雄）の菅原典夫准教授と徳満敬大非常勤助教らの研究チームは、さまざまに存在するギャンブル経験の種類によるギャンブル行動症の発症リスク差について、一般住民を対象とする我が国最大規模のインターネット調査を行いました。現在、我が国では特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律が立法され、カジノを含む統合型リゾート（IR）の開業に向かう一方で、カジノ開業によるギャンブル行動症リスクの増大について懸念されています。

我が国では、パチンコや競馬などの従来型ギャンブルに加え、近年ではオンラインカジノが社会問題となっており、ギャンブル行動症の有症割合が国際的にみても高いとされています。これまでの研究では、若年層や男性、衝動性の制御が困難な精神障害とされる ADHD（注意欠如多動症）などがギャンブル行動症のリスク要因として指摘されてきました。しかし、どの種類のギャンブルが特にリスクを高めるのかについては、不明な点が残されていました。そこで、本研究では 2024 年 1 月から 2 月にかけて、インターネット・コホート調査から 29,268 人の有効回答を得て、ギャンブル行動症へつながるギャンブル経験について検討を行っています。

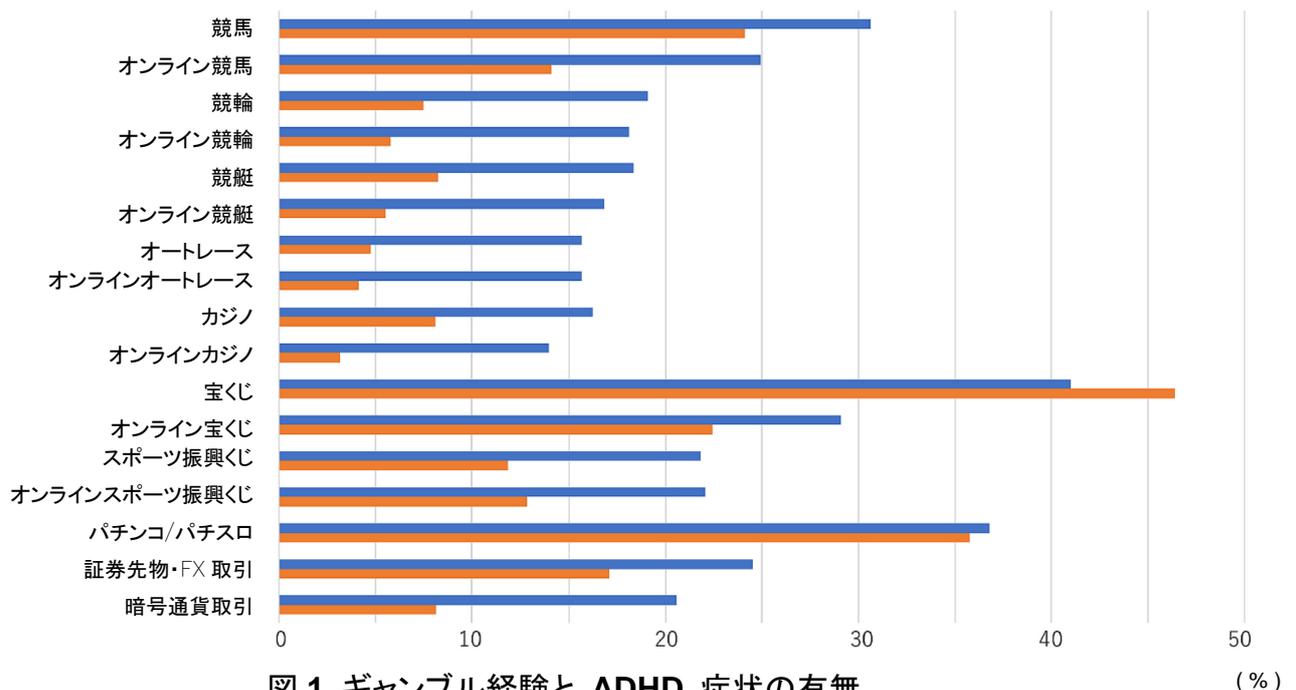


図1 ギャンブル経験と ADHD 症状の有無

■ ADHD 症状あり、■ ADHD 症状なし

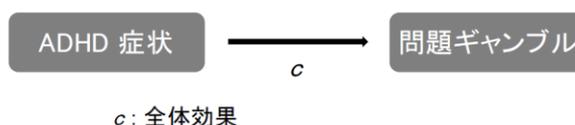
(%)

その結果、参加者全体の 5.7%が、Problem Gambling Severity Index で 8 点以上と、ギャンブルが問題化（問題ギャンブル）しており、特に ADHD 症状を持つ集団においては、22.2%が問題ギャンブルを有していた。さらに、宝くじ（オンライン宝くじを除く）以外の全てのギャンブル経験について、ADHD 症状を持つ集団の方が経験した割合が高かった（図 1）。ADHD の特性が、問題ギャンブルに発展する経過を媒介する割合として、競艇、オンラインカ、カジノジノの順に高い数値を示しました（表 1）（図 2）。また、オンラインカジノについては、ADHD 症状の有無に関わらず、問題ギャンブルを悪化させる因子であることも明らかになりました。

表 1 ADHD と問題ギャンブルとの媒介因子

媒介因子	効果	オッズ比	95% 信頼区間	Z 値	p 値	媒介割合
競輪	間接効果	1.71	1.41-2.08	5.45	<0.001	54.0%
	直接効果	2.15	1.67-2.77	5.93	<0.001	
	全体効果	3.69	2.87-4.74	10.17	<0.001	
オンラインカジノ	間接効果	1.58	1.31-1.90	4.86	<0.001	49.1%
	直接効果	2.16	1.61-2.91	5.09	<0.001	
	全体効果	3.42	2.68-4.36	9.91	<0.001	
カジノ	間接効果	1.59	1.32-1.91	4.90	<0.001	47.5%
	直接効果	2.32	1.78-3.03	6.21	<0.001	
	全体効果	3.68	2.85-4.76	10.00	<0.001	

全体効果モデル



媒介モデル

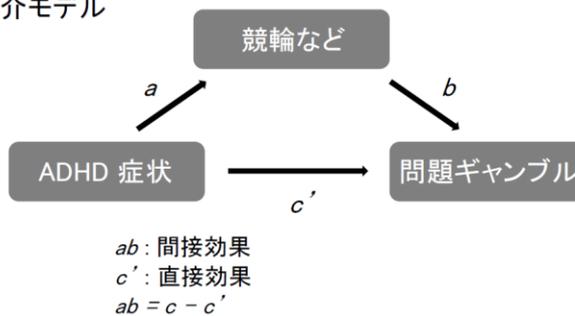


図 2 媒介モデルのイメージ

本研究の結果は IR 構想について、さらに批判的吟味が必要であることを示唆するものと考えられます。なお、本研究をまとめた論文は、国際医学誌「Addictive Behaviors」（インパクトファクター：3.7）に掲載されています。

書誌情報および本件取材についての問い合わせ先は、以下の通りです。

論文 : Risk factors for the development of problem gambling in individuals with ADHD symptoms: The mediating roles of gambling engagement and ADHD characteristics. Addictive Behaviors 166 (2025) 108327

著者 : Keita Tokumitsu, Norio Sugawara, Takahiro Tabuchi, Norio Yasui-Furukori

【研究チーム】

獨協医科大学精神神経医学講座 : 古郡規雄主任教授、菅原典夫准教授、徳満敬大非常勤助教  
東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 : 田淵貴大准教授

本件に関するお問い合わせ先

獨協医科大学精神神経医学講座 菅原 典夫 (すがわら のりお)

電話 (代表) 0282-86-1111 e-mail: nsuga3@dokkyomed.ac.jp

